

戦争繰り返すな

戦争法案反対

劇的に発展

瀬戸内寂聴さん
93歳の訴え

93歳の作家・瀬戸内寂聴さんは、国会前集会に参加し、「戦争を二度と繰り返してはなりません」と訴えました。



訴える瀬戸内寂聴さん(右) = 6月18日

学者アピールに
8952人

学者61人が呼びかけた「安保関連法案反対」のアピールへの賛同は1カ月足らずで9000人近くに。

宗教者
宗教・宗派こえ

真宗大谷派は宗務総長名の宗派声明、本山修験宗は撤回決議、天台寺門宗・総本山三井寺は廃案求める声明。

全弁護士会が
意見書

日本弁護士連合会は役員85人(全国52の単位弁護士会の会長全員を含む)が全会一致で意見書。

戦争法案に反対します 日本共産党

内閣総理大臣
安倍晋三殿

【要望】 一、「戦争法案」を廃案にすること

氏名	住所

取扱団体 ● 日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号

【お願い】 この署名は、日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 Fax 06-6975-9115にお送り下さい。

戦争法案 強行採決

暴挙

国民の反対踏みにじる

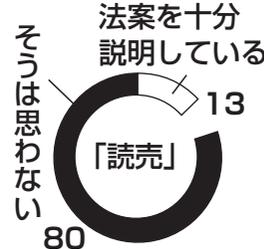
法案の今国会成立



法案の合憲性



法案の説明



違憲明白、廃案しかない

自民・公明の与党は15日、衆院安保法制特別委で戦争法案を強行採決しました。法案は審議すればするほど反対が増え、世論調査では5～6割が「違憲」、8割が「政府の説明は不十分」、6割が「今国会成立反対」です。採決強行は、国民の反対と慎重審議を求める世論を踏みにじる暴挙です。

法案は、米国いいなりで憲法9条を全面破壊、日本を「海

外で戦争する国」にしようというものです。

国会審議や国会での参考人の発言などを通じて憲法違反であることが明白になっています。どんなに審議を重ねても「合憲」にはなりません。法案は廃案・撤回するしかありません。成立阻止へ今こそ声をあげましょう。

日本共産党

近畿民報

2015年7月 No.3(第202号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を
発表しました。